

市民防災講座

広島市は、平成26年8月20日安佐南区・安佐北区で豪雨災害を経験し77名（関連死を含む）の犠牲者が出ました。そして、今年7月6日再び豪雨災害が発生、安芸区・安佐北区・東区そして南区で20名余り犠牲者が出てしまいました。

平成26年豪雨災害後、「二度と豪雨災害は経験したくない」。この願いは通じませんでした。今後は、2度の「広島豪雨災害の体験」が、貴重な資料として自主防災組織などの防災意識の向上や早期避難に繋がればと思っています。

私達は、災害に強い広島市民と地域づくりを目指して、様々な方と協力して活動していきたいと思っています。

防災講座の内容

日時：平成30年10月30日(日) 午後6時30分～午後8時30分（2時間）

場所：中区総合福祉センター5階大会議室
中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル内

講師：日本赤十字社広島県支部

内容：①災害エスノグラフィー

〔大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災者の具体的なイメージを理解しながら、災害に備えるワークショップです。〕



参加希望の方は、氏名・電話番号を下記へ。（〆切は10月21日）

連絡先：広島市防災士ネットワーク 代表世話人 柳迫(090-3740-0325)

今後発生が予測される 大規模災害に対して

例えば...

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

	南海トラフ地震	首都直下地震
今後30年以内の発生確率	両地震ともに70%程度 平成28年(2016年)に発生した熊本地震の発生確率は発生時点では、ほぼ0~0.9%でした。 地震はいつ起こるかわかりません。	
最大想定死者数	最大 32万3千人	最大 2万3千人

内閣府資料、中央防災会議資料、地震調査研究推進本部資料による